

町村週報

(町村の購読料は会費)
の中に含まれております)

2736号

毎週月曜日発行

発行所 全国町村会 〒100-0014 東京都千代田区永田町1丁目11番35号：電話03-3581-0486 FAX03-3580-5955

発行人 山中昭栄：定価1部40円・年間1,500円(税、送料含む) 振替口座00110-8-47697

<http://www.zck.or.jp>

奥久慈だいたい観光やな(茨城県大子町)



も く じ

随
想情
報フ
ォ
ー
ラム政
策

「大和根無情」をふるさとの歌に……

町村Nav……

人口12千人の都市近郊型のまちづくり〜何もないという贅沢〜大阪府能勢町……

厚生労働省・2011年度予算概算要求重点施策

千葉県町村会長 東庄町長 岩田 利雄……

(10)

(8)

(4)

(2)

休 閑 話

ビル・ゲイツ氏の慈善事業

筑波大学名誉教授

村上 和雄

ソフトウェア界における技術革新をリードしてきたマイクロソフト社の創設者であるビル・ゲイツ氏が、53歳という若さで経営の第一線を退き「ビルとメリンダ(夫人の名前)ゲイツ財団」の活動に主軸を移した。

この財団は、ビル・ゲイツ氏の個人資産のほとんどすべてに当たる5兆円を投じて、2000年に設立された世界最大規模の慈善財団である。

「すべての命は平等の価値を持つ」という根本理念に基づいて財団は設立された。

2007年には1億3000万人の子供が誕生したが、そのうち1000万人が亡くなっている。そのほとんどは、世界の貧しい国の恵まれない子供たちだ。財団の目標は、子供の死亡をゼロにすることである。その力ぎを握るのはイノベーションであり、新しい方法で病気の

診断、治療、予防を行い、人々の命を救うことである。

例えば、2000年にエイズ、結核、マラリア撲滅のためのグローバルファンド(基金)の創設に寄与した。このファンドは、世界の保健医療のための資金を供給する上で画期的なイノベーションであり、すでにマラリア治療における世界最大の資金源となっている。

ゲイツ氏の講演やその後のトークセッションを聞き強く感じたことは、一見相反するように見えるITビジネスと慈善事業を、明確なビジョンと希望を持ち、しかも楽しみながらやっているということである。

その根底には「他を助けることは、人間の本性だからだ」という哲学がある。そして、慈善事業の成功のために、政府高官をはじめ貧しい多くの人々と直接会い、世界各地を駆け回っている。

◎写真募集◎

本誌表紙に掲載の写真を募集しています。
四季折々の風物や行事など適当な写真がありましたらご寄贈下さい。(写真には題名、町村名を付して下さい)
なお、採否は当方に一任願います。
送り先:全国町村会・広報部

厚生労働省

▼2011年度 予算概算要求重点施策▼

子ども手当、上積みを目指す

—前年度比4.5%増、28兆7954億円—

厚生労働省の2011年度予算概算要求は、一般会計総額で前年度比4・5%増の28兆7954億円となった。月額1万3000円からの上積みを目指す子ども手当、喫緊の課題である雇用対策といった重点施策に加え、新設の「元気な日本復活特別枠」に子宮頸がんの予防対策強化に向けたワクチン接種の助成など15事業を計上した。長妻昭厚労相（当時）は今回の概算要求を「少子高齢社会を克服する日本モデル」の構築に向けた第一歩と位置付けている。

要求の内訳は、年金や医療など社会保障費が4・7%増の27兆5012億円、政策的経費が9・7%減の1兆1655億円、「特別枠」が1287億円。社会保障費の自然増をそのまま計上する一方、政策的経費を約1割削減し、その分を特別枠に回した。

子ども手当上積み分は結論先送り

長妻厚労相は子ども手当について、民主党が09年衆院選マニフェスト（政権公約）に盛り込んだ1人当たり月2万6000円の満額支給は財源的に困難と既に断念しており、現行の1万3000円からの額の上積みを求めている。

概算要求では現行額に基づき国庫負担分として1兆7280億円を計上した。給付総額は2兆4387億円に上る。地方5478億円、事業主1628億円の負担を前提としており、上積み分は金額を明示しない「事項要求」

として年末の予算編成に結論を先送りをした。

民主党内には月額5000円程度の増額を求める声が根強くあるが、菅直人内閣は財政規律を重視しており、現金増額は野党から「バラマキ」批判を招きかねず、実現は難しいとみられる。また地方六団体は「子ども手当のような全国一律の現金給付は国が全額負担すべきだ」と主張しており、昨年と同様、年末に向けて負担の在り方をめぐって関係者間の調整が難航するのは必至だ。

少子化対策のうち、保育所の待機児童ゼロ作戦の推進など保育サービスや放課後児童対策には4088億円を要求。受け入れ児童数を拡大し、保育マ

マや延長保育、休日・夜間保育、病児・病後時保育などの充実を図る。放課後児童クラブは2万4872カ所から2万5591カ所に増やす。

少子化対策の一環として、不妊治療への支援も充実させる。不妊治療のうち医療保険が適用されず経済的な負担が重い体外受精については助成を拡充。所得制限を廃止し、1回当たり15万円、年2回、通算5年までという条件を、年3回、通算5年、計10回を超えないといった内容に改める。

子宮頸がん予防対策事業に重点

今回の概算要求の「目玉」ともいえる子宮頸がんの予防対策事業は「特別枠」最高額の150億円を要望した。予防接種を助成する市町村に対して費用の3分の1を補助する。中学1年から高校1年の4学年、接種率45%を想定している。

国内で年間約1万5000人が発症し、約3500人が死亡している子宮頸がんは20〜30代の発症が増加している。主にヒトパピローマウイルス（HPV）の感染が原因だ。

HPVの感染を防ぐワクチンは、国内では昨年12月に発売された。保険の利かない自由診療扱いのため4万〜6万円程度掛かる。国内の一部自治体は助成を始めているが、国の補助を求める声が高まっていた。

子宮頸がんワクチンを含めがん対策

政 策

の総合的な推進に541億円を計上。子宮頸がん、乳がんの無料健診事業を引き続き実施するほか、がんに関する相談をワンストップで提供する都道府県ごとのセンター設置やがん研究の推進に取り組むほか、新たに市町村が40〜60歳を対象に自宅で使用可能な大腸がん検査キットを送付する事業の費用2分の1を補助する。

医師不足対策で「地域医療支援センター」を全県設置

深刻化する医師不足への対応策として、各都道府県に「地域医療支援センター（仮称）」を設置する。17億円を計上し、都道府県に対して3600万円を上限に運営費の2分の1を補助する。

新設するセンターは、若手医師を人材が不足する病院に派遣。同時に都市部に比べて技術・知識取得に不利な環境に置かれる派遣医師や地域で働く若手医師のキャリア形成を支援する。またホームページ（HP）上で医師の求人情報を公開し、他の都道府県とも連携して人材をあつせんする事業も行う。

同省は予算計上に当たり、センター1カ所の人員を医師2人、事務職員3人の計5人と想定。都道府県によって「医師確保対策室」など同様の機能を有する組織を持っており、その場合はセンターに衣替えることも可能としている。

介護では「高齢単身・夫婦のみ世帯」の生活支援

菅首相は12年度の介護保険制度改正に向け、「孤立化の恐れがある『高齢単身・夫婦のみ世帯』の生活支援」を介護保険の基本目標として追加するよう関係省庁に指示した。今夏に所在不明の高齢者が相次いだことを受けた措置だ。

具体的には、①24時間地域巡回・随時訪問サービス②見守り付きなど高齢者向け住宅③認知症支援―を「新型サービス3本柱」として打ち出した。

3本柱は概算要求にも計上された。「24時間地域巡回・随時訪問サービス」は全国100カ所にコールセンターを設置し、在宅の高齢者の元に24時間365日、いつでもホームヘルパーが駆け付けられることができるようにする。事業費28億円を要求した。

また認知症支援については、「はいかい・見守りSOSネットワーク構築事業」として10億円を計上。はいかい高齢者の捜索、通報、保護や見守りについて、住民が幅広く参加するネットワークづくりを進め、ボランティア育成にも取り組む。

介護分野ではこのほか、家族介護者支援（レスパイトケア）を推進。家族介護者の負担を軽減するため、通所介護施設（デイサービス）での宿泊・時間延長サービスを11年度から介護保険の適用対象とする。

現行では、認知症高齢者らがデイサービスを1日10時間以上利用すると、超過時間分は自己負担となるが、ショートステイの一形態と位置付けるなどして対応する。100億円を計上し、「お泊まりデイサービス」実施のため8000床を整備する。

新年金制度創設に向けた動き

政府の「新年金制度に関する検討会」は6月に、民主党が昨年の衆院選マニフェスト（政権公約）に掲げた年金改革案に基づき7項目から成る新制度の基本原則をまとめた。

マニフェストに掲げた新制度は、現在の厚生、国民、共済の各年金を一元化し、所得に応じて年金受給額が決まる所得比例年金と、消費税を財源とする月額7万円の最低保障年金を組み合わせた仕組みだ。

基本原則は、年金一元化、所得比例年金、最低保障年金といった制度の骨格について改めて確認した。しかし、最低保障年金の具体的な額は明記せず、財源に関しても「将来にわたり安定的な財源を確保する」との表現にとどめた。具体的な制度設計は与野党協議に委ねる方針だ。

政府は13年中に新制度の関連法案成立を目指しており、来年度概算要求には新制度創設に向けた国民対話、意見聴取の経費として1億5000万円を計上した。

野党時代に「ミスター年金」と呼ば

れた長妻厚労相が重視した年金記録問題への対応には876億円を要求する。約8億5000万件に上る紙台帳の年金記録をコンピューター上の記録と照合する事業を引き続き実施する。

新卒者雇用で企業奨励金

労働分野では、厳しい就職状況が予想される新卒者らを支援するため、企業への奨励金を拡充する。来春就職できなかった新卒者を試験的に有期雇用した企業には原則3カ月間、月10万円ずつ助成するほか、正社員として採用すれば50万円を追加支給する。卒業後3年以内の既卒者を正社員にしたケースでは、正規雇用から3カ月後に100万円を助成する。

さらに、地方でも最低賃金の大幅引き上げが可能な環境を整備するため、従業員の賃金を時給800円以上にアップさせる中小企業への支援制度を新設。1社当たり支給額は15〜70万円で、引き上げ幅や従業員数に応じて決める。対象は最低賃金が680円以下の県に所在する中小企業に限定する。

一方、格差社会で深刻化する貧困・困窮者対策として、ホームレスに対して総合的な支援を行うNPOなど全国250団体に活動助成を行う「絆」再生事業に76億円を要求した。また生活費や債務整理費用を融資する「生活・居住セーフティネット支援事業」には60億円を計上した。

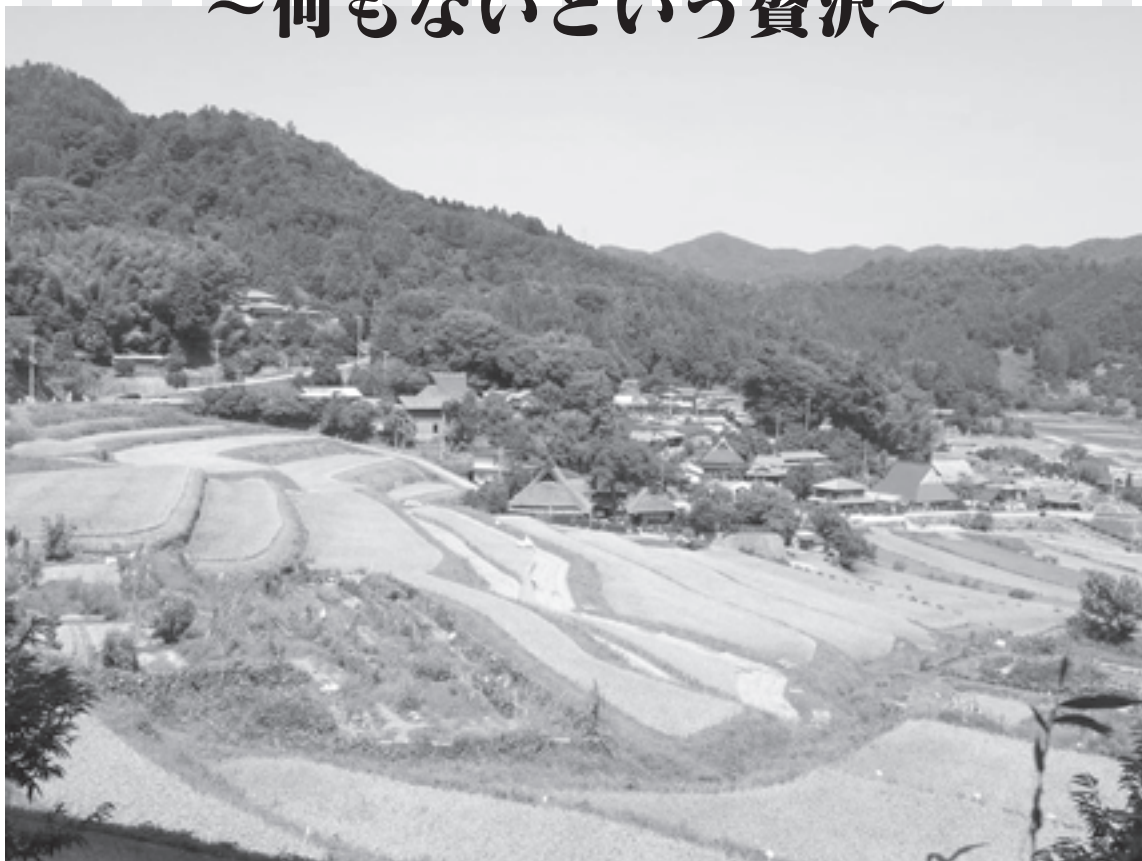
（時事通信社内政部 大月克巳）

地域資源を活かした活性化策

現地レポート

人口12千人の都市近郊型のまちづくり ～何もないという贅沢～

▷「日本の棚田百選」に選ばれた能勢長谷（ながたに）の棚田
オーナーになれば、農家の管理している棚田で、田植えから稲刈りまで、
年数回の農作業やイベントに参加できます。



の せ ちょう 大阪府 能勢町

てっぺんのまち

能勢町は、大阪府の最北端、いわゆる「てっぺん」に位置し、緩やかな北摂山系に囲まれた自然豊かで多くの文化遺産に恵まれた里山文化の息づいたまちです。

この地域は、縄文時代に、すでに人々が暮らし、「日本書紀」雄略天皇17年の条（5世紀頃）に「摂津国来狭々村」の古名で、文献に初めて登場し、古来より、日本海方面から瀬戸内海方面への街道筋にあたり、能勢街道・丹州街道など交通の要衝の地として早くから開けてきました。

町内各所には、歴史的な文化財が数多く残っており、中でも、「能勢の浄瑠璃」は江戸時代後期から約200年もの間、語り継がれています。

また、江戸時代に関西一の霊場として、多くの参拝者で賑わった「能勢妙見山」は、山頂から、摂丹連山、六甲の山々が一望でき、厄難・病苦を避け、開運を願って今も多くの人が参拝に訪れています。

日本棚田百選に選ばれて

フォーラム

てっぺんの拠点

積極的に「能勢」をPRし、農業の振興と地域の活性化をめざして作られ

積極的に「能勢」をPRし、農業の振興と地域の活性化をめざして作られ

いる「長谷の棚田」は、静かな山あいに位置しており、きれいな曲線美を見せています。



△能勢妙見山



△能勢町のまちなみ

た、道の駅「能勢（くりの郷）」。

観光情報発信拠点でもある能勢町観光物産センターは平成12年5月にオープンしました。



玄関でくり坊

が皆さんをお出迎えしています。

平成21年度には来店者数28万人、総取扱金額522、073千円、経常利益22、502千円の規模となり、さらなる充実をめざしています。

ここでは、毎朝、町内で生産された朝採りの新鮮な野菜をはじめ、しいた



△野間の大けやき

江戸時代には多くの銀札（当時のお金）を寄せたことから「銀寄」と名づけられたといわれており、大飢饉の際には、人々を飢餓から救ったと伝えられています。

「能勢米」は、良質のきれいな水と

けや玉子のほか、農産加工品など栽培した生産者自身が出荷、陳列を行っています。

「新鮮」「安心」「安全」をモットーに、顔の見える販売を理念としており、「旬」の農林産物以外にも、「でつちようかん」や「ミナラルウォーター」などの特産品も販売しています。

栗の最高品種といわれる「銀寄」は、能勢が原産であり、実が大きく、ほくほくした甘味が人気です。



△「顔の見える」モノだけを提供。新鮮で美味しいものを求めてくる人たちににぎわう観光物産センター内

風土、寒暖の差が大きい気候など自然の恵みが作り出した逸品です。

「池田炭」の名で知られる能勢の菊炭は、昔、能勢街道を通って大阪・池田方面に積み出されました。

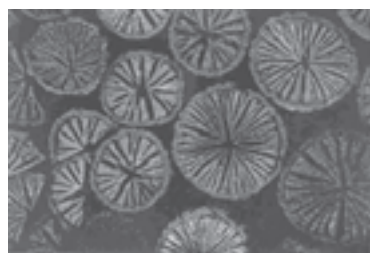
菊の花を思わせる断面の美しさ、燃え尽きた後に白い灰が残る風情、火付き・火持ちのよさから、現在も茶席には欠かせない炭として珍重されています。

能勢の冬の味覚の代表格である「ぼたん鍋」は、里山の豊かな恵で育ち、締まった肉質・甘味、野趣に富んだ味わいにひかれて毎年多くの方が「ぼたん鍋」目当てに訪れています。

他にも、原料となる米の栽培から酒造りまで一貫して生産する蔵元のこだわりと、冬の厳しい寒さが作り出す深みのある純米酒のほか、能勢の農林産

フォーラム

＜能勢菊炭（池田炭）＞



＜能勢栗「銀奇」＞



物を原材料に用いた加工品がたくさんあります。

能勢町にお越しの際は、ぜひ、「賞味ください。」

また、物産センターでは、春のたけのこ、夏のトマト、秋の栗のほかにも、朝採りの「旬」の野菜や切り花などを販売しており、大勢の人で賑わいます。併設しているレストランでは、能勢でとれた「旬」の食材をふんだんに使ったふるさと料理を味わうことができます。

他にも、能勢町内の行事や施設案内、観光情報を提供する観光案内所があり、町内9ヶ所の観光コースを案内する「観光ボランティアガイド」の受付も行っています。

情報・案内コーナーでは、伝統文化の「浄瑠璃」を定期的に上演しているなど、「観る・食べる・楽しむ」の三拍子揃った能勢の地域振興・情報発信の拠点になっています。

てっぺんの文化

〈能勢の浄瑠璃〉は、素浄瑠璃と呼ばれる形態のもと、江戸時代後期文化年間から今日まで、200年余に渡り伝え続けられてきた、太夫（語り）と太棹三味線だけで物語が進行する淡い座敷芸です。

農業のかたわら、土地固有の芸事として、農閑期に師匠からマンツーマンで稽古を受け、芸を身につけていくス



＜能勢の「うまいもん」と言ったら、「ばたん鍋」を外すわけにはいきません！



▲庶民によって創られ伝え続けられた文化〈能勢の浄瑠璃〉は極めて特殊な地域芸能として、1993年に大阪府指定無形民俗文化財、また1999年には“浄瑠璃という芸能が地域に伝播し伝承する過程で、全国的にも希少な伝承のあり方を生み出したものであり、芸能の過程を知る上で重要”とのことから国の無形文化財の選択を受けた。

取りかかり、プロフェッショナルのスタッフを集め、人形首・人形衣裳・舞台美術は一から制作を行い、2000年の伝統〈能勢の浄瑠璃〉に新しいオリジナルな形が加わりました。

2006年10月には、活動をより確かなものにするため、劇団として《能勢人形浄瑠璃「鹿角座」》を立ち上げ、そして現在、鹿角座は定期自主公演以外に、年間30件もの公演依頼を受け、「アマチュアのとっぺん（日本一）」をめざし、意欲的な活動を行っています。

また、「伝統文化の黒衣隊」という組織を能勢町商工会青年部有志が中心となり立ち上げ、能勢の伝統芸能と伝統技術を融合させた活動も行っています。

全国の人形浄瑠璃団体の活動の視察に赴き、営業活動を行うなど、若さあふれる視点で「てっぺんを支える！」と意気込む彼らの活動は、能勢だけでなく、他の地域における祭礼や伝統芸能の継承に力を貸し、地域活性化に役立っていると確信しています。

能勢オリジナルを重視した、現在の能勢の文化活動は、全国の中でも珍しいとされています。

フォーラム

しかし、現在行っている事を50年・100年と続けることができれば、目新しいとされているこの活動も長い歴史の一部分になり、常識となるものと思います。

古い芸能をそのまま守り続けるだけではなく、現代に生きる芸能として新しさを加えることで、その時代時代にあった芸能の形を創り続けることができると、強い信念を持ち、舵取りをしているところです。

てっぺんのえんぴ

スタートは、町の観光資源のひとつである浄瑠璃以外にはどれだけの資源があるかを把握することからでした。それらの大切な資源を「大阪のてっ

ぺん能勢」として一人でも多くの人に「まずは知ってもらおう」と、観光情報誌を発行することになりました。

しかし、発行までの道のりは想像以上に険しく、町を観光地として改めて見直したとき、観光地開発の難しさにぶつかったのです。

情報誌発行の会議では、「能勢には、お店の数が少なく、何もない」「看板も整備されていない」……などのマインスマスの言葉ばかりが行き交う状況でした。



▷能勢オリジナル演目
「能勢三番叟」



▷能勢オリジナル演目
「風神雷神」

■情報誌は、都市圏で働く若い女性をターゲットにして、おしゃれなカフェや特産品、田園地帯ならではの農作物などを特集し、やわらかく、かわいらしいデザインでまとめた。自分だけのとおきおきの場所を探してもらおうというコンセプトだ。



ところが、

これらの言葉こそが、他のまちの情報誌との差別化を図り、能勢の観光の核となることに気がついたのです。山の中にひっそりとある神社。誰にもみづからないような場所に隠れ家のよ

うにあるカフェ。

町全体が宝探しのような町。つまりは「何もない」と思っていた町に、「こんなものが」あんなところが「という、新しい発見と感動を与えることができるのではないか……という発想の転換に変わったのです。

こうして2010年3月に、近畿圏を中心に「おおさかのてっぺん」というタイトルで情報誌が発売となりました。これがすぐに交流人口の増加に繋がったかどうかをすぐに把握することはできませんが、情報化社会の現在では、インターネット上で「大阪のてっぺん」と「能勢」を紹介してくれるファンが増えてきていることはあきらかであり、この「コミ」が大阪のてっぺん能

勢を観光地として、そして地域を活性化させていく最も効果的な方策の一つとなることを期待しています。

てっぺんから

地方分権が進展する中、もとより自主財源の乏しい、財政基盤の脆弱な能勢においては、住民の皆様とともにこのまちのあるべき姿・めざすべき姿を想い・描き、まちの特色を最大限活かす施策を戦略的に展開するなど、これまで以上に効率的・効果的な行財政運営が求められていることは申し上げるまでもありません。

能勢が持つ自然環境やそこから生まれる浄瑠璃などの文化、新鮮で安全安心な食を通じて、四季を感じることがのできる癒しの空間を提供することが能勢の果たすべき役割だと思っています。

そして能勢の中には、まだまだたくさん未利用資源があると思います。

そういう認識を住民の方々はもとより、観光客の皆さんとも共有しながら、今までも、これからも、高い住民自治意識を礎に、里山とともに、「おおさかのてっぺん」が地域ブランドとして幅広く認識していただける、そういう持続可能なまちづくりをめざしていきたいと思っています。

「てっぺん」にはそういう想いが込められています。

(能勢町長 中 和博)

町村Navi

北海道南富良野町

企業の森林づくりで
桧湖池屋と協定

町はこのほど、町有林の整備を企業が実施する「ほっかいどう企業の森づくり」に関する協定書を桧湖池屋と調印した。

同「企業の森」は、北海道が森林整備による地球温暖化防止など企業の「環境貢献」の一環としてコーディネートしているもの。町は9割を森林が占めるが、桧湖池屋は2009年に南富良野町の農業共同組合にポテトチップスの製造を委託。その縁で昨年、町と同社が「企業の森林づくり」を協定「湖池屋の森」として同社が町有林7.6haの除間伐を実施。今回、さらに、新たな別の山林1.8haを対象に協定を締結。同社が、カラマツ3、460本、アカエゾマツ180本を植栽することともに、植栽後3年間は下草刈り等の保育活動を支援することにした。

町では、これまでも基幹産業として森林整備を進めているが、同社との協定に基づく森林整備で約220万円が浮くことになると歓迎している。

宮城県南三陸町

飼い犬台帳に写真を添付

町はこのほど、飼い犬の登録台帳に犬種等の情報と併せて犬の写真を添付することを始めた。飼い主が見つからずに殺処分されてしまう迷い犬が増加したことなどによるもの。これまで、迷い犬を保護した際には、台帳に登録されている「犬種」や「毛色」などの

大まかな情報を頼りに飼い主を特定していた。飼い犬の写真を管理・把握することで飼い主の特定が効率化され、1頭でも多くの命を救えることを期待している。

町は、7月と8月に飼い犬調査を実施。飼い主を訪問して登録されている飼い犬の特徴が分かる写真を撮影し、台帳に添付した。今後、新たに登録される飼い犬についても職員が訪問して写真を撮影・添付する。町では、年間10〜20頭の迷い犬の届出があるという。

茨城県大子町

保育園・幼稚園の保育料等を
無料化

町は、町内の保育所・幼稚園の保育料と給食費を10月1日から全額無料にした。町では、若者定住と町外からの転入促進のため、「子育て支援日本一の町」を目指して、子育て世帯の経済的負担の軽減と子育て環境の整備に積極的に取り組んでおり、今回の措置もその一環。

全額公費負担の対象となるのは1私立保育園と4町立保育所、1町立幼稚園で、対象児童は保育所等が283人、幼稚園が63人(8月現在)。保育所等では一人当たり平均26万6,000円が、また、幼稚園の保育料4,000円と給食費3,700円、入園手数料2,000円がそれぞれ無料になる。このための補正予算が9月議会で成立した。

町では、このほか小中学校の給食費の無料化をはじめ、妊産婦健康診査料の全額負担、妊産婦・乳幼児等の医療費助成、放課後子供教室の実施、全中学1年生を対象にした子宮頸がんワク

チン接種費用の全額助成などを行っている。

神奈川県湯河原町

観光立町推進条例案で概要

町は、観光立町推進条例案の概要をまとめた。平成23年4月の施行を目指す。

町では、観光産業は町経済を牽引する重要産業との認識の下、観光資源を生かし、観光地としての魅力を高めることと居住環境の向上を一体として「四季彩のまち」の実現に取り組んでいる。条例は、湯河原らしい真の観光立町の実現のため、町民一人ひとりが重要な担い手としての認識の下、町、観光事業者、観光関係団体等が一体となって観光立町の実現に向けた施策を総合的・計画的に推進するため制定するもの。

概要によると、条例は、▽基本理念▽関係者の責務▽観光立町推進計画の制定▽魅力ある観光地の形成▽人材の育成▽観光旅行者、外国人観光旅客の来訪の促進▽観光旅行の安全の確保▽新たな観光旅行の分野の開拓▽観光地における環境の保全▽施策の検証▽財政上の措置▽観光立町推進会議の設置などで構成。うち、観光立町推進会議は、観光立町の実現に関する施策を総合的・計画的に実施するため設置するとした。

熊本県山都町

「山都町四季の景観づくり事業」への補助金で、町への推進

町は、平成21年度から、町の資源を

活かした町づくりの推進を目的として、四季を彩る苗木の植栽にかかる経費に対し、「山都町四季の景観づくり事業」への補助を行っている。

この事業は、町が有する蘇陽峡や緑仙峡や町内各地に紅葉に映える美しい森林峡谷など町全体の自然景観づくりを目指し、始まった。町づくりへの町民参加も狙いの一つ。

対象となるのは、該当年度末までに植栽される苗木の植栽にかかる経費で、①苗木購入費 ②資材・土壌改良費 ③その他苗木の植栽に必要な経費。樹種については、落葉広葉樹、または四季の景観づくりに資すると認められるものである。

具体的には、①花をつける樹木…ウメ、モモ、アンズ、サクラ、コブシ、サルスベリ、ツツジ類、アジサイ類など ②紅葉する樹木…モミジ類、カツラ、ナツバキ、ヒメシャラ、コナラ、メグスリノキ、カキノキ、ウメモドキなど。

補助対象者は、自治振興区で、原則として1自治振興区あたり10万円限度の定額。植栽する場所は、公園、道路測帯、道路に面した庭先、田畑の畦畔、里山の裾野などの基本的に人目に触れる場所が対象となる。

平成21年度は、26自治振興区に補助金が交付となり、モミジ、サクラ、ツツジなど約1200本が植栽された。町は、平成23年3月に迫った九州新幹線の全線開通や九州横断自動車道延岡線の整備が進む中、町への観光客も増加することを見据え、さらに事業を推進していく。

情 報

健康に生き抜く方法

四〇歳代での裸眼に要注意！

ライター 真ノ宮ゆな

老眼は小学生のころから
すでに始まっている

人間にとって四〇歳代とは、男女ともにもっとも成熟した時期といわれます。しかし、体の老化はずっと早く始まっており、とくに眼の老化は小学生のころからすでに始まっているということを、みなさんはご存じでしたか？

私たちの眼には、デジカメのように瞬時にピントを合わせる機能（オートフォーカス機能に似た働き）があります。その機能を支えるのは、カメラのレンズのような役割を果たす水晶体と、伸縮によってレンズの厚みを調節する毛様筋です。水晶体と毛様筋の働きによって、私たちは目の前にあるものを鮮明な形でとらえることができるのです。

ところが、年齢を重ねるにつれ、水晶体の弾力性や毛様筋の伸縮機能

は徐々に低下し、レンズが厚みを増しにくくなります。それによって、目からピントが合う地点（調節近点）までの距離（近点距離）が長くなり、それまで読んでいた距離から離さないと、文字が読めない」といった症状を感じるようになるのです。これがいわゆる老眼（正確には老視）のメカニズムです。

とはいえ、老眼は加齢によって急に始まるものではありません。じつは、小学生では数センチ、二〇歳代では一〇センチ、三〇歳代で一五センチといったように、近点距離は年齢と比例して徐々に長くなっていきます。ただし、新聞や本を読むとき、多くの人は眼から三〇〜四〇センチの距離を離す習慣を身につけているため、近点距離が短い年齢層では、老眼の症状を自覚することがほとんどありません。近点距離が二〇〜五〇センチになる四〇歳代になっ

て初めて、老眼を自覚する割合が増えるのは、このような理由からです。

「近視の人は老眼にならない」
は誤解

俗に「近視の人は老眼にならない」という説もありますが、これは誤解

です。そもそも近視は近くの物が見えやすい状態にあるため、老眼になっても自覚症状として気づきにくいのです。また、近視の人はメガネの着用によって、ピントが合う位置を正常な場所に矯正していることがあります。そのため、老眼になると、むしろメガネを外したときのほうが、近くの物を見やすいと感じるようになります。ただし、これはあくまでも「近視の状態で老眼になっっている」という状態であるといえます。

老眼と上手につき合うために

老眼は病気ではなく、加齢によって避けられない老化現象の一つです。パソコン・テレビ・携帯電話などの画面を長時間見続けるような生活習慣は、毛様筋に過度の負担をかけることになり、老眼の進行を早める原因になります。眼が疲れたと感

じたら、温タオルを当てて、眼の疲れや緊張をほぐしましょう。また、パソコンで長時間作業をする場合は、一時間に一〇分〜一五分程度の休憩を確保するのが望ましいといわれています。

「老眼かな？」と思ったら、眼科を受診することをぜひお勧めします。眼科受診を勧める理由は「自分の眼に合った老眼鏡を作るため」と「白内障や緑内障などの病気が潜んでいないかをチェックするため」です。既製の老眼鏡は簡単に手に入るのですが、人によっては視力に左右差があったり、乱視を合併している場合もあります。眼への負担軽減を考えると、自分に合った老眼鏡を作るのが望ましいでしょう。また、病気の場合にも、老眼に似た症状が見られることがあります。

最近、眼病の治療だけでなく、伝導式角膜形成術（CK）という老眼治療を導入している眼科もあります。老眼の症状を感じたら、自己判断せずに、最寄りの眼科医に相談してみてはいかがでしょうか。

随 想

随 想

「大利根無情」を
ふるさとの歌に千葉県町村会長
東のし庄 町長 岩田 利雄

私の子供の頃の思い出は、自宅近くの諏訪神社の境内で鬼ごっこをしたり、黒部川で泳いだり、魚を採ったりしたことです。

高校時代からは、東京で過ごすことになり、その頃から空手を習い始め、東京での学生生活は空手に打ち込む毎日でした。

大学を卒業後は、佐倉市の薬問屋に四年間修行に出た後、家業の薬局を継ぎました。

以来、ふるさと「東庄町」で、お互いの心が通じ合う多くの仲間と住み心地のよさを感じながら、共に歩んできました。

町の高台から見る眺めは雄大です。眼下には水田が広がり、青い水

田を涼風が渡ってきます。大利根・黒部の流れ、川面に映る夕陽、対岸の輝く夜景。水と緑のすばらしい自然が、いつも爽快感や元気を与えてくれています。

利根の 利根の川風 よしきりの
声がつめたく 身をせめる

これが浮世か 見てはいけない

西空見れば

江戸へ 江戸へひと刷毛 あかね雲

(せりふ)「佐原囃子が聴えてくらァ、想い出すなァ……御玉ヶ池の千葉道場か。うふ……平手造酒も今じゃやくざの用心棒、人生裏街道の枯落葉か。」

昭和34年 三波春夫「大利根無情」

三波春夫さんは、この歌をNHK紅白歌合戦で三度歌われました。

私は、今、町長の職にありますが、町外での宴席では、よくこの歌謡楽曲を歌わせていただいています。それは、ふるさとの歴史や風景が描かれた歌であるという思いと、昭和を代表する国民的歌手 三波春夫さんの大ヒット曲で全国的にも有名であるということからです。

そして、私が中学生の時に他界した父親は、三波春夫さんの歌が大好きでした。「雪の渡り鳥」などのレコードが遺り、私の中に三波春夫さんの歌は、父親が好きだった思い出の歌として残りました。

今、魅力ある地域づくりには、歴史や文化を知ることから始まり、今あるもの、引き継がれてきた古き良きものを大事に残しながら、不足しているものを補っていくという着実な歩みが必要です。

時々、地元で開催される中学生時代の同窓会では、町外に出て生活を

している同窓生は、一様にふるさとへの懐かしい想いを語ります。

ふるさと東庄町は豊かな自然が健在であり、向こう三軒両隣の人情も、時代とともに形は変わりつつも、現在でも息づいています。私が東京での生活に見切りをつけて、帰ってきたのも、その「豊かな自然」と「人情」が忘れられなかったからです。ふるさとは、まさしく人でありま

す。人は、ふるさとのなかで成長し、やがて自分のふるさとを創っていくもの、「ふるさが、人を育み、人がふるさを創る」。

何よりも大事なものは、そこに住む人達であり、受け継がれてきたものや「おたがいさま」の心で「人」を大切にすることです。

そしてまた、次世代に引き継いでいくこと。

私は、これからも「大利根無情」を、大きな声を張り上げて歌い続けます。

情 報

COMPUTERIZATION LOCAL AUTHORITIES

地方自治情報化 推進フェア 2010

地 域 が 主 役 の ICT 社 会 へ

電子自治体の未来を拓くICTセミナー

～ 電子行政総合展 ～

2010年 11月9日(火)・10日(水)

東京ビッグサイト 西展示棟 西2ホール

9:30～17:00 入場無料

大手ベンダーを始め、前回は上回る61社の
情報関係企業の行政情報システムが一堂に集結!

(特別出展として韓国地域情報開発院の出展も決定!)

行政のICT推進に向けた特別講演やセミナーを数多く実施!

自治体
関係者
必 見

情報 システム 展示会

出展社61社、特別出展1

利用者視点と費用対効果の視点に立った先進的な情報システムや利便・
効率・活力を実感できる電子自治体の実現に資する最新システムの展示
とデモンストレーション

講 演 会

行政サービスの高度化、地域の課題解決における積極的なICTの
活用方法等についてICTに造詣の深い有識者による特別講演

特別講演1:東京大学大学院 情報学環 教授 坂村 健 氏
特別講演2:アクション・リサーチ/杉並TV 代表 高橋 明子 氏
(総務省地域情報化アドバイザー)

ベンダー プレゼン テーション

情報システム展示会出展社に
よる自治体の情報化推進に関
する内容についてのセミナー
参加36社、40回開催

トピックス セミナー

地方公共団体の
情報システム活用
事例等を中心とした
セミナー

オープン セミナー

最近の電子行政の話題(韓国の電子行政、コンビニ交付、
セキュリティ、eLTAX)の他、自治体実務経験者による
電子自治体の課題等を中心としたセミナー

関連行事(地方公共団体情報化職員等表彰):東京ベイ有明ワシントンホテル

主 催:(財)地方自治情報センター

後 援:総務省/全国知事会/全国都道府県議会議員会/全国市長会/全国市議会議員会/全国町村会/
全国町村議会議員会/(財)日本宝くじ協会/(財)地域創造/(財)地域活性化センター/
(財)自治体国際化協会/(財)自治体衛星通信機構/(社)行政情報システム研究所

お問い合わせ



財団法人 地方自治情報センター

情報調査部 TEL 03-5214-8004
E-Mail: prd@lasdec.or.jp

LASDEC

検索

<http://www.lasdec.nippon-net.ne.jp/evnt/2010/>



車両共済(保険)のご案内



(自動車総合保険の車両保険)

この車両共済(保険)は、町村生協の自動車共済で補償する対人賠償、対物賠償、限定搭乗者傷害等に加え「ご自身のおクルマの補償(車両保険)」を追加する制度です。
お車が衝突した場合や台風・いたずら・盗難など偶然な事故で損害を被ったときに、共済(保険)金をお支払いします。

町村生協の自動車共済にご加入の皆様なら！

- 通常に新規でご加入するよりも **40% (保険料) 割引**
(ご加入を希望するお車が町村生協の自動車共済で過去3年間無事故の場合は、ノンフリート等級9等級からスタートします。)
- 集団扱契約により更に **5% (ただし、一括払のみ)**
○保険料分割払(12回)も選択可能です。
(保険料分割払をご利用の場合は上記の集団扱一括払の5%割引の適用はありません。)

さらに

無料ロードサービスがついてきます。
ご契約のお車が、事故・故障で自力走行できなくなった場合、事前にロードサービス専用デスクにご連絡ください。JAFにお取り次ぎし、レッカーや30分程度の緊急修理などを手配します。
●バッテリー上がりや、キー閉じ込み、ガス欠など

○年齢・ご家族・ご夫婦など運転される方を限定する場合、またお車が新車の場合は、さらに掛金(保険料)が割引になります。

契約条件と掛金(保険料)例

- ・自動車総合保険(損保ジャパン)保険期間1年
- ・自動車保険集団扱一括払による割引5%適用。

車 名 スズキ ワゴンR
型 式 MH23S
初 度 登 録 平成22年1月
年 齢 条 件 30才以上補償
運 転 者 限 定 家族限定
共 済 (保 険) 金 額 150万円
払 込 方 法 集団扱一括払



補償範囲	免責金額なし	免責金額5万円
一般条件 (割引適用済)	38,650円	30,800円
(通常・新規で加入する場合)	67,810円	54,030円
車対車+A (割引適用済)	21,260円	16,940円
(通常・新規で加入する場合)	37,300円	29,710円
限定A (割引適用済)	—	3,760円
(通常・新規で加入する場合)	—	8,580円

- ・上記掛金(保険料)は、町村生協の自動車共済で過去3年間無事故(ノンフリート等級9等級)の場合のものです。保険料は平成22年1月1日現在のものであり、変更される場合もあります。
- ・掛金(保険料)は、型式、初度登録年月、年齢条件、運転者限定特約の有無、共済(保険)金額、等級などにより異なります。
- ・上記掛金(保険料)例の「通常に新規で加入する場合」とは、ノンフリート等級6S等級を適用した保険料を例示したものです。
- ・免責金額とは、共済(保険)契約者に、事故の際に自己負担していただく金額です。
- ・このご案内は概要を説明したものです。詳しい内容については取扱代理店(千里)または損保ジャパンの営業店にお問い合わせください。

※この車両共済(保険)をご契約いただける方は、全国町村職員生活協同組合の自動車共済に加入されている方に限ります。

お見積りのご請求・お申し込み・お問い合わせなどは、下記までご連絡ください。

株式会社 千里 (取扱代理店)

- フリーダイヤル **0120-731-087** (受付時間 月～金 午前9時30分～午後5時)
お電話の際には、車検証をお手元にご用意ください。
- FAX番号 **03-3519-7325**
- ホームページアドレス **http://www.chisato-ag.co.jp**
〒100-0014 東京都千代田区永田町1-11-32 全国町村会館西館内

●「車両共済(保険)制度」は、全国町村職員生活協同組合と株式会社損害保険ジャパンとが集団扱契約を締結し、実施しているものです。

〔車両保険引受保険会社〕(株)損害保険ジャパン

平成20年9月9日 SJ08-05327